

陸義猶 むつが 舊金澤藩士。天保十四年一月加賀國金澤生れ、大正五年八月十八日歿（八四三—九六）。字正路、通稱靜一郎。變名中村他三郎。號九韋、白岳隱士。維新の際脱藩して九州に赴き、西郷隆盛、桐野利秋等と交はる。のち上京して大久保利通暗殺の謀議に加はり、斬奸状を起草した。藤 かど 除族終身刑となるも、禁錮十年明治二十一年特旨により出獄。その後、石川縣書記官。

著書 『楚屈原』（明治二十年九月一日研學會「愛國人物叢書」）。

